

【学校教育目標】

叡 智 ・ 健 康 ・ 心  
～豊かな感性をもち、心身ともに健康で、自ら学び自律できる生徒の育成～

めざす学校	めざす生徒像	めざす教師像
1 和やかで活気のある学校 (楽しく安全に過ごせる学校) 2 互いに切磋琢磨している学校 (生徒の活動があふれる学校) 3 地域社会に開かれた学校 (保護者・地域と協力できる学校)	1 豊かな心をもつ生徒 (思いやりの心をもち、美しいものに感動できる生徒) 2 自らを律し、自ら学ぶ生徒 (真剣に学習に取り組む生徒) 3 健康でたくましい生徒 (健康・安全・体力に関心をもつ生徒)	1 健康で明朗な教師 (元気に楽しく指導できる教師) 2 組織を生かす教師 (常に報連相を意識できる教師) 3 研鑽に努める教師 (生徒理解と生徒に寄り添った指導を目指す教師)

【学校経営の基本方針】

「めざす学校像」、「めざす生徒像」、「めざす教師像」を見据え、生徒一人一人が「大切にされている」と実感できるようにしながら教育目標の具現化を図りたい。次に掲げる基本方針を基調として経営を進める。

1) 全職員による学校運営

「学校は生徒のためにある組織体である」という認識にたち、「生徒の教育」という共通な視点で協力体制をつくり、職員全員で学校運営にあたる。

2) 学習指導の充実

- ① 家庭学習を含めた学習習慣の育成に努め、基礎・基本の充実を図る。(山王中学力向上プランの推進)
- ② 読書活動を推進し、読書の習慣化を図り、全ての教科の基となる読解力の向上に努める。

3) 教育相談活動の充実

- ① 教育相談を重視し生徒の実態を捉え、個々の抱える課題解決に向けて、全面的に支援する。
- ② 長欠生徒の指導には、学校体制で臨み、学年職員・生徒指導・教育相談担当・養護教諭・スクールカウンセラー並びに関係諸機関との連携を密にして対応する。

4) 生徒指導の充実

- ① 「めざす生徒像」の具現化に向け、学校生活のあらゆる場面で個に応じた丁寧な指導を心掛ける。
- ② 生徒は発達途上の未完成な子どもであるという認識のもと生徒理解に努め、関わりの中で厳しさと温かみのある指導を推進する。

5) 道徳教育の充実

- ① お互いの人格を尊重し、思いやりの心・助け合いの精神の醸成を図る。
- ② 道徳の時間と福祉・ボランティア活動等の様々な体験的な活動を通して豊かな感性を育てていく。

6) キャリア教育・進路指導の充実

- ① キャリア教育の視点で学校教育を推進し、キャリアパスポートを有効に活用できるようにする。
- ② 将来の生き方を考え、能力・個性に応じた進路の選択や決定が、主体的にできる生徒の育成を図る。

7) 特別支援教育の推進

- ① 学校全体の共通理解と協力体制による特別支援教育を推進し、合理的配慮を行う。
- ② 障害の多様化・重複化に配慮しながら、共生を図る。(交流活動の推進)
- ③ 通常学級で特別な配慮を要する生徒への組織的な対応を行う。(ケース会議の開催)

8) 家庭や地域との連携・開かれた学校づくりの推進

- ① 授業(学校)参観、学年・学級懇談会を実施するとともに、自由学校参観等を継続して行う事で、開かれた学校を推進し、保護者や地域の方々から親しみをもたれる学校づくりに努める。
- ② 体験的、奉仕的な学習の充実を図るため「職場体験・福祉体験・ボランティア活動等」を地域の協力を得て実践する。
- ③ 学区の小学校との連携を図るため、授業をはじめ、部活動や行事等での交流を推進する。

9) 生徒集会の充実

- ① 生徒主体の場面を多くし、所属意識の向上と自己有用感の高揚を図る。
- ② 全校が集まる場面での活動によって、広くコミュニケーション能力の育成につなげていく。

10) 研修の推進

- ① 学習指導要領に基づき、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を意識し、各教科の内容や指導方法の研究・研修に積極的に取り組む。
- ② 授業力向上を目指して相互授業参観を実施する。